

<報道資料>

2012年10月1日
テーラーメイドゴルフ株式会社

テーラーメイド契約プロ

H・W・リュウ、『R11S』で日本ツアー初勝利！！

『R11S』が国内男子ツアーで早くも5勝目を記録！

『R11S』、『TaylorMade ROCKETBALLZ』が17戦連続モデル別使用率 No.1^{*1}を達成！

テーラーメイドゴルフ株式会社(本社:東京都江東区/代表取締役社長:菱沼信夫)では、同社が展開する「テーラーメイド」の契約プロ、H・W・リュウが9月27日～9月30日に開催された「コカ・コーラ東海クラシック」(開催場所:三好カントリー倶楽部/愛知県)にて日本ツアー初勝利を飾りました。

大型台風の接近に伴い、1999年の日本ゴルフツアー機構(JGTO)発足後初の無観客試合となった最終ラウンド。3日目に5アンダーの単独首位に躍進したH・W・リュウは次第に天候が崩れる中においても、『R11Sドライバー』を駆使して4つスコアを伸ばす攻めのゴルフを展開。

16番のパー3でトラブルにみまわれたものの、プレーオフを制して通算6アンダーで日本ツアー初優勝を飾りました。



「R11Sドライバー」で
日本ツアー初優勝を飾ったH・W・リュウ

同大会では、『R11Sドライバー』が国内男子ツアー開幕から17戦連続となるモデル別使用率NO.1^{*1}を獲得。『TaylorMade ROCKETBALLZ TOUR フェアウェイウッド』においても、大会出場者108名中23名(186本中32本)が使用し、21.3%という使用率を記録しています。さらに、今回の勝利に伴い、『R11Sドライバー』は国内男子ツアー5勝目、テーラーメイドのドライバーとしては6勝目を記録。「テーラーメイド」の“白い”クラブがツアーを席巻しています。

「テーラーメイド」では今後も、高い飛距離性能を誇る『R11Sドライバー』をはじめとした高性能なギアを通じて、多くのゴルファーのパフォーマンスに貢献していきます。

H・W・リュウ 使用スペック^{*2}

ドライバー : 『R11Sドライバー』(9°)

*1: 使用率はダレル・サーベイ調べ(2012年10月1日時点)。

*2: 使用スペックに関しては一部、市販モデルとは仕様が異なる場合があります。

■「R11S ドライバー」

『R11S ドライバー』では、新たに5通りのフェースアングル調整を可能にするNew「ASP(アジャスタブル・ソール・プレート)」を搭載。ロフト調整機能の「FCT(フライト・コントロール・テクノロジー)」、そして弾道調整を可能にする「MWT[®](ムーバブル・ウェイト・テクノロジー)」の3つの調整機能を組み合わせることで80通りの弾道調性が可能。さらに、ホワイトカラーを施したクラウン部がアドレス時における安心感と集中力向上に貢献。ブラックPVD加工されたフェースとのコントラストがターゲットに向かって正確なアドレスをサポートします。また、460CCのオーソドックスなヘッド形状が高い慣性モーメントと低深重心化を実現、高い直進性と大きな飛距離を導き出します。



【TaylorMade Golf Inc./ テーラーメイド ゴルフ株式会社について】

TaylorMade Golf Inc. (米国)は1979年の創立以来、最高品質のゴルフ用品を提供する世界のゴルフシーンにおけるリーディングカンパニーです。1998年にはアディダスグループの完全子会社となり、「アディダスゴルフ」ブランドのフットウェアおよびアパレルを中心としたラインナップも展開。2009年には「アシュワース」ブランドのアパレルを中心としたプロダクトの展開を開始。日本では1986年から事業を開始し、現在はテーラーメイド ゴルフ株式会社として「テーラーメイド」、「アディダスゴルフ」に加え、「アシュワース」ブランドを展開。ツアープロを始め、あらゆるゴルファーのニーズに応える幅広い製品を提供し続けています。